

## 当院眼科にて治療を受けている患者さんへ

### 過去の治療データ使用のお願い

当院では通院されている方を対象に、近視が緑内障に与える影響を調べる研究を行うことになりました。

近年、近視の人口は急激に増えていますが、近視の人は緑内障になりやすいことが知られています。近視になると眼球が大きくなり、それによって視神経という物を見る時に使われる神経も変形します。変形した視神経はストレスに弱く、緑内障を引き起こしやすいと考えられています。けれども、近視の人ではどのような視神経の変形が起こるのか、詳しいことはよくわかっていません。

本研究では近視の眼の視神経変形について調べ、それが緑内障のストレスに対してどのような弱さを引き起こしているのかを明らかにします。そのため、該当する患者さんのカルテ等の治療データを解析や検討に使用させていただきます。

- ✓ この調査研究は秋田赤十字病院倫理委員会で審査され、承認を受けて行われます。研究の対象となる期間は2023年4月から2027年3月までです。
- ✓ 調査研究の対象は、当院眼科で治療を受けた近視患者さんのカルテ等のデータです。
- ✓ すでに行われた治療のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ✓ データは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ✓ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ✓ この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- ✓ この調査研究についてデータ使用を希望されない患者さん、また、ご意見ご質問がございましたら、下記の研究責任者までご連絡下さい。

秋田赤十字病院 眼科  
研究責任者 澤田 有  
TEL: 018-829-5000 (代)